

人類の生活に大きな変化を与えた 世界の文明

福岡市立花畑中学校 飛松和明

1 はじめに

人類は、400万年以上前に地球上に出現してから今日までのほとんどの時間を狩猟、採集、移動で生活をしてきた。ところが紀元前8000年ごろから、農耕という生活手段をとった人々は村や集落をつくり、耕地を耕し、新しい生活を生み出していった。そして、巨大建築物や貴金属加工などをともなった文明が誕生し、その後の人類の生活に大きな変化をもたらした。それが四大文明やメキシコから南米大陸にいたるアステカ、マヤ、インカ文明などである。いずれの地域も農耕・牧畜を中心に政治、経済が成り立っていたと思われる。

古代文明については、最近、次々に新たな発見があり、新聞やテレビで伝えられる機会も多い。また、各地の博物館で特別展覧会も催されたり、日本人で世界的にも有名な考古学者がテレビに出演したりするなど、古代文明にふれる機会は多くなっている。

教科書では中国文明の学習をするが、新学習指導要領では他の文明についても学習することになる。

古代文明の学習をとおして、人類の歴史に大きな変化をもたらした不思議さ、神秘さにふれ、歴史に興味を持ってもらえるような授業をしたいものである。

2 授業の展開

古代文明の中で、エジプト文明は生徒にとってなじみやすい内容だと思われる。多くの生徒はエジプト文明＝ピラミッド、スフィンクスを想像することができる。また地理の授業でも、行ってみたい国の上位にエジプトと答える生徒は多く、その理由として「ピラミッドやスフィンクスを実際に見てみたい。」との答えが返ってくる。

そこで、エジプト文明を例に次のような授業展開を行ったので紹介する。

1 導入

学習のテーマを提示してピラミッド建設についての意見交換を行う。

学習のテーマ

ピラミッドをつくらう。ピラミッドをつくるのに必要なもの、必要なことは何かを考えよう。

プリント配布（資料I）と発問

この資料から、ピラミッドをつくるのに必要なもの、必要なことは何があるかを考えよう。思いつくものを書き出そう。

(生徒はノートに書き出す。生徒から出た意見を板書する。)

生徒の意見

石、木、棒、ソリ、ロープ、土器、働いている人、布、油 (板書)

資料 I



2 展開

(1) 生徒の意見をまとめて板書する

板書
 石・・・ピラミッドをつくる材料
 木、棒、ソリ、ロープ、土器・・・道具
 働いている人・・・運ぶ人 指示する人
 布(衣服)、油・・・日用品のようなもの

(2) 生徒から出た意見についての検討 1

発問 石と道具について考えてみよう。

- ・石はどのような形をしているかな。なぜ形が整っているの。
- ・ソリは何でつくったの。
- ・どこで誰がつくったのかな。
- ・他に必要な道具は何かあるかな。

生徒の意見

- ・のみで削った。(石や木を削る。)
- ・のみをつくる鉄がいる。(製鉄)
- ・布や土器もどこかでつくる。
- ・道具をつくる作業場で働く人も必要だ。

(道具をつくるための作業場やそこで働く人も別にいることに気づく。)

(3) 生徒から出た意見についての検討 2

発問 働いている人について考えてみよう。

- ・石を運ぶ人や指示する人以外にもどんな人がかかわっていたと思われるかな。(奴隷制度があったという考えは当てはまりにくくなりつつあるということを補足する。)

生徒の意見

- ・王様や貴族がいた。王様の命令でつくっていた。
- ・道具をつくる作業場で働く人がいる。
- ・石は別のところから運んできた。石を運ぶ人や石を切り出す人もいる。

(いろいろなところで働いている人や様々な職種、その人たちをまとめるための人がいたことに気づく。)

補足

人々をまとめるための政治があったことを補足する。黒板に「政治が整う」と書く。

板書 「政治が整う」

(4) 生徒から出た意見についての検討 3

発問 布や油などについて考えてみよう。

- ・布や油は、どこで手に入れるの。

生徒の意見

- ・原料となる植物を育てていた。
- これらの意見を「栽培」として板書

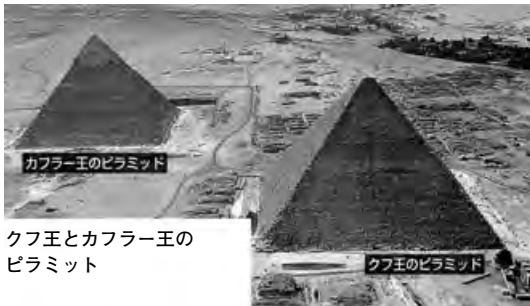
板書 「栽培」

(農耕は食料の小麦だけではなく、そのほかの植物の栽培もあったのではないかと興味を深めた。)

(5) 考えを深めさせる活動

① 指示 (資料Ⅱを黒板に貼る。)

資料Ⅱ ギザの三大ピラミッド



クフ王とカフラー王の
ピラミッド

「中学生の歴史 初訂版」p.22

説明

- ・クフ王のピラミッドは最大のピラミッド。
- ・完成時の高さは146.6m。
(現在は137.5m)
- ・底面積はおよそ6ha(各辺は正しく東西南北をさしている。)
- ・1つの重さ平均2.5tの石材が230万個つかわれたと伝えられている。

- ・資料Ⅱのピラミッドの写真を見てください。
- ・皆さんが当時のエジプトでピラミッドをつくるのに関わっていると思いながら見てください。
- ・ピラミッドをつくるのに必要なことは何でしょう。石と道具があって、人がいてそれだけで、できるかな。必要なことを近くの人と話し合ってみよう。

② 発問

- ・ピラミッドをつくるのに必要なことは何でしょう。
- ・なぜ、このように石を積み上げることができたのかな。
(ただ石を積み上げるのではない。安全に、正確に、大量に。機械はもちろんない。)

③ アドバイス

意見が出にくそうな場合は補足のための板書(資料Ⅲ)を行い、アドバイスをを行う。

意見が出にくいようなので補足をします。今から黒板に書く〇〇の中に入る語句を考えてみましょう。

資料Ⅲ (板書例)

- ・石を切る、形を整えるための〇〇がいる。
- ・石を運ぶための〇〇がいる。
- ・石を積み上げるための〇〇がいる。
- ・いろいろな道具をつくるための〇〇がいる。
- ・いろいろな道具を使うための〇〇がいる。

※ ヒント

- ・〇〇の中にはいる漢字2文字の言葉を考えてみよう。
- ・目で見ても、手でさわることではできません。
(「技術」という言葉を入れさせる。)

アドバイスへの生徒からの質問と答え。

- ・何かモノですか。(ちがいます。)
- ・道具ですか。(道具ではありません。)
- ・今もありますか。(あります)

④ 質問内容の確認

先ほどの質問をもう一度確かめます。
 「必要なことは何ですか。」と問いました。必要なことです。もう一度考えてみましょう。

・石を切ったり削ったりするための様々な（ ）がつくられ、道具をつくったり石を運んだりするための（ ）が発展した。
 （順に 政治 道具 技術）

生徒の意見

・わからない。何だろう。
 ・先生、答え、言わないでね。考えさせて。
 ・道具のつくり方、道具の使い方じゃないのかな。

⑤ まとめ

道具のつくり方、道具の使い方などを「技術」といいます。いろいろな「技術」があったので植物を育てたりモノをつくったり、使ったりすることができま

す。
 （「技術」の重要性を確かめる。）
 黒板に「技術」と書く。

板書 「技術」

3 まとめ

授業で出てきた言葉を空欄に埋めさせて古代文明学習のまとめを行う。

今日の授業のまとめ（板書例）
 ・農耕が始まったために人口が増えた。
 ・王様を中心に人々をまとめる（ ）の仕組みが整った。

3 ほかの文明の取り扱いの例

そのほかの文明の発生した地域では宗教と政治との関係を簡単に補足しておく。

1 メソポタミア文明、インダス文明

メソポタミア文明は地図帳でチグリス川、ユーフラテス川を探させる。この地域が現在のイラクに当てはまることに気づかせる。インダス文明は現在のパキスタンあたりにあることに気づかせる。

それぞれの地域は現在はイスラム教という宗教の影響が強い地域であり、現在は政治があまり安定していないことにふれておく。

2 ローマ文明

ローマ文明の遺跡ではキリスト教との関係を押さえておきたい。ローマ帝国の時代にキリスト教が広まり、(教会建築や絵画、彫刻などがルネサンスと関わってくる。)現在のヨーロッパ文化の元となったことを紹介する。

※ 参考文献
 ・「ピラミッドの謎」
 吉村作治 講談社現代新書
 ・「第三の波」
 A.トフラー（徳岡孝夫監訳）中公文庫